

3 中 学 校

生徒数 30,918 人で、増加
長期欠席者数は減少

表 9 中学校の推移

(単位：校、級、人、%)

年度	A 学校数	B 学級数	C		D		1 学級当たり		教員 1 人当たり		女子教員 の占める 割合
			生徒数	対前年度 増減率	教員数	対前年度 増減率	生徒数 C/B	対前年度 増減数	生徒数 C/D	対前年度 増減数	
平成17	86	956	30,402	△1.4	2,092	△0.0	31.8	△0.2	14.5	△0.2	48.0
18	86	955	30,076	△1.1	2,085	△0.3	31.5	△0.3	14.4	△0.1	47.4
19	86	969	30,456	1.3	2,113	1.3	31.4	△0.1	14.4	0.0	47.8
20	86	965	30,443	△0.0	2,107	△0.3	31.5	0.1	14.4	0.0	47.8
21	84	1,020	30,918	1.6	2,141	1.6	30.3	△1.2	14.4	0.0	47.9
国立	1	12	478	0.4	24	14.3	39.8	0.1	19.9	△2.8	29.2
公立	82	998	30,094	1.6	2,096	1.5	30.2	△1.2	14.4	0.1	48.3
私立	1	10	346	1.5	21	0.0	34.6	0.5	16.5	0.3	28.6

(1) 学校数

学校数は前年度より 2 校減少（廃校）し、84 校（本校 84 校）となった。
設置者別にみると、国立が 1 校、公立が 82 校、私立が 1 校となっている。
市町村別では、富山市 28 校、高岡市 12 校、南砺市 8 校等となっている。
学級数別学校数をみると、12 学級と 13 学級がいずれも 8 校で最も多く、次いで 7 学級と 10 学級が 7 校ずつとなっている。

(表 9、統計表 36、38)

(2) 学級数

学級数は 1,020 学級で、前年度より 55 学級増加した。
編制方式別にみると、単式学級が 922 学級（構成比 90.4%）、特別支援学級が 98 学級（同 9.6%）となっている。

1 校当たりの学級数は 12.1 学級（前年度 11.2 学級）で、全国の 11.2 学級を上回っている。

(表 9、統計表 37)

(3) 生徒数

生徒数は 30,918 人（男子 15,726 人、女子 15,192 人）で、前年度より 475 人（1.6%）増加した。これはピーク時（昭和 37 年度、88,658 人）の 34.9%となっている。

学級編制方式別にみると、単式学級生徒が 30,689 人、特別支援学級生徒が 229 人となっている。

市町村別では、富山市 11,937 人、高岡市 4,855 人、射水市 2,781 人の順に多い。対前年度増減数をみると、富山市 239 人（2.0%）、高岡市 95 人（2.0%）、射水市 52 人（1.9%）、など 12 市町村で増加している。前年度より減少したのは、上市町 21 人（3.2%）、南砺市 11 人（0.7%）、滑川市 2 人（0.2%）の 3 市町村であった。

1 校当たりの生徒数は 368.1 人（前年度 354.0 人）で、全国の 331.4 人を上回っている。

1 学級当たりの生徒数は 30.3 人（前年度 31.5 人）で、全国の 29.7 人を上回っている。

（表 9、10、統計表 40、51）

表10 男女別及び学年別生徒数の推移

（単位：人）

年度	計	男子	女子	1 学年	2 学年	3 学年
平成17	30,402	15,596	14,806	10,047	10,181	10,174
18	30,076	15,324	14,752	9,846	10,051	10,179
19	30,456	15,483	14,973	10,551	9,849	10,056
20	30,443	15,508	14,935	10,059	10,539	9,845
21	30,918	15,726	15,192	10,318	10,061	10,539

（4）教員数及び職員数

教員数（本務者）は 2,141 人（男子 1,116 人、女子 1,025 人）で、前年度より 34 人（1.6%）増加した。教員総数に占める女子教員の割合は 47.9%となっている。

1 教員当たりの生徒数は 14.4 人（前年度 14.4 人）で、全国と同数であった。

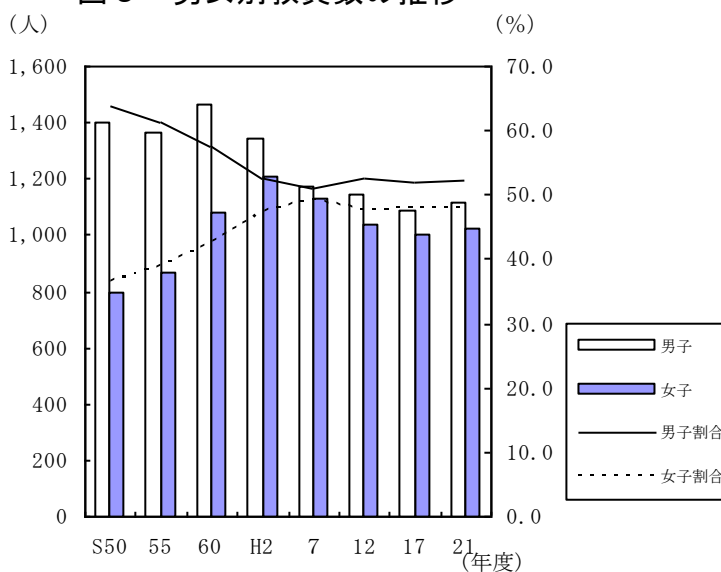
1 校当たりの教員数は 25.5 人（前年度 24.5 人）で、全国の 23.1 人を上回っている。

職員数は 308 人で、前年度より 22 人減少した。（表 9、11、図 5、統計表 45、49）

表 11 男女別教員数（単位：人）

年度	計	男	女
平成 17	2,092	1,088	1,004
18	2,085	1,096	989
19	2,113	1,104	1,009
20	2,107	1,100	1,007
21	2,141	1,116	1,025

図 5 男女別教員数の推移



(5) 理由別長期欠席者数

平成20年度間の30日以上長期欠席者数は、平成19年度間より6人(0.6%)少ない946人で、理由別では「不登校」が733人(構成比77.5%)で最も多く、次いで「その他」が105人(同11.1%)、「病気」が104人(同11.0%)となっている。

全生徒数に占める長期欠席者の比率は、全国より0.67ポイント低い3.11%で、低い順に全国第9位(前年度第8位)であった。

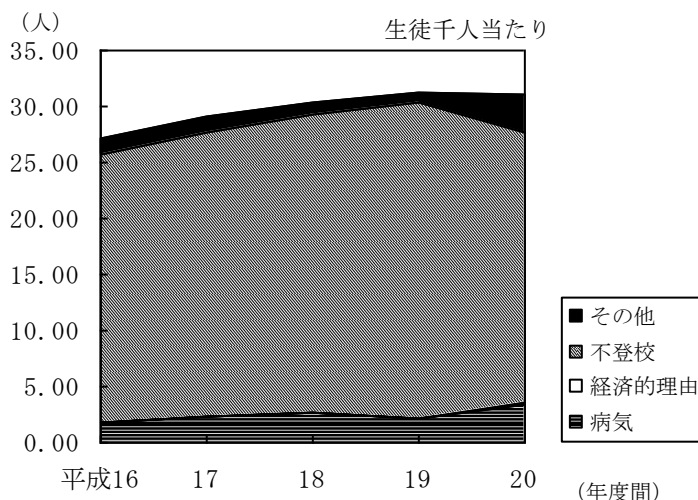
また、全生徒数に占める「不登校」の比率は、全国より0.48ポイント低い2.41%で、低い順に全国第5位(前年度第20位)であった。(表12、13、図6、7、統計表42)

表12 理由別長期欠席者数(単位:人)

年度間	総数	欠席理由			
		病気	経済的理由	不登校	その他
平成16	836	55	-	736	45
17	885	73	-	767	45
18	914	79	-	802	33
19	952	64	-	858	30
20	946	104	4	733	105

注) 「その他」には、「欠席理由が2つ以上(「病気」と「不登校」など)あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」が含まれている。

図6 長期欠席者の理由別推移



$$\text{生徒千人当たりの長期欠席者数} = \frac{\text{各年度間の長期欠席者数}}{\text{各年5月1日現在の生徒数}} \times 1000$$

図7 長期欠席者の推移

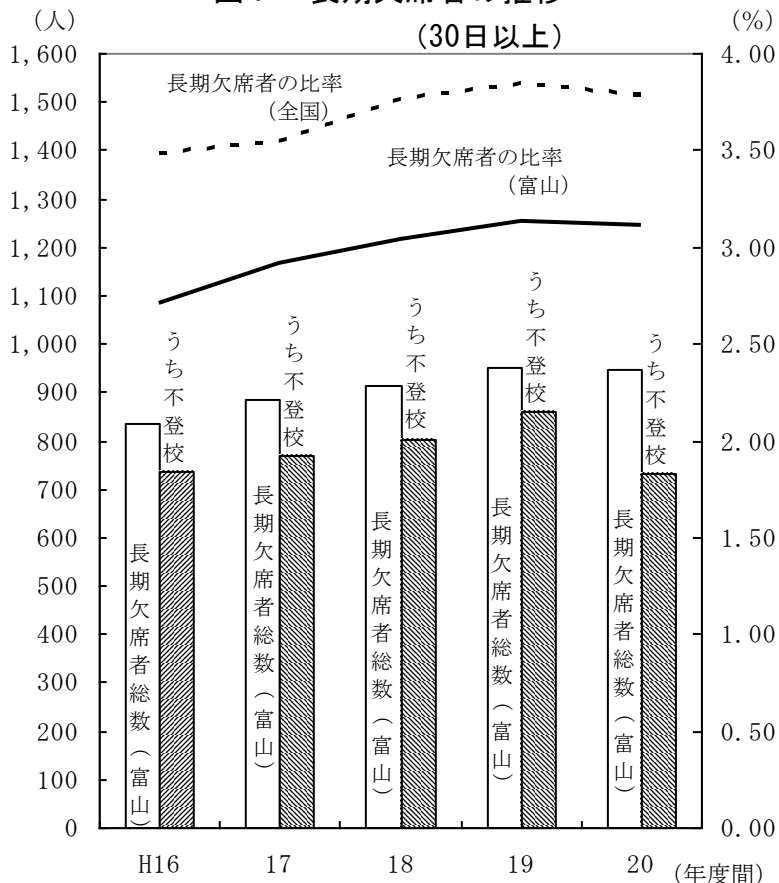


表13 全生徒数に占める不登校の比率 (単位:%)

年度間	富山県	全国
平成16	2.39	2.73
17	2.52	2.75
18	2.67	2.86
19	2.82	2.91
20	2.41	2.89

$$\text{比率} = \frac{\text{各年度間不登校の欠席者数}}{\text{各年5月1日現在生徒数}} \times 100$$